

30 J ミルク 発第 117 号  
平成 30 年 10 月 10 日

報道関係者 各位

一般社団法人 Jミルク  
会長 西尾 啓治

## 「平成 30 年度 酪農乳業の国際比較研究会」開催のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当法人の事業運営ならびにその広報につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 26 年度より毎年開催している標記研究会を、本年度も開催致します。

本年 6 月に第 1 報としてご案内いたしましたとおり、今回は、わが国における持続可能な酪農生産を実現するための課題や展望について、日本と他の国の酪農生産との構造的な比較研究を通して把握するため、日本の酪農生産と共通点の多いカナダとオランダからスピーカーを招き、各国の「現状・課題・展望」について講演を行うとともに、パネルディスカッションで共通する課題や特有の課題を明らかにしつつ、今後の国際比較研究会のあり方や可能性と方法についても議論する場と致します。

つきましては、是非多数のご参加を賜りますようご案内を申し上げます。

別紙の申込書により、本法人まで FAX またはメールにてご連絡を賜りたいと存じますので、よろしくお取り計らい下さいますようお願いいたします。

謹白

### 記

- 開催日時：平成 30 年 11 月 29 日（木）〔受付 10：00～〕  
研究会：10 時 30 分～12 時 00 分、13 時 00 分～18 時 00 分  
懇親会：18 時 00 分～20 時 00 分
- 開催会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋  
研究会：ホール 22A  
懇親会：ホール 22B  
〒103-0028 東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 22F  
※別添アクセスマップを参照ください。
- 概要：国際会議形式（同時通訳付き）  
参加費：無料（交通費等は各自負担）  
参加予定人数：200 名  
参加対象者：酪農乳業関係者、研究者、行政関係者、メディア等  
後援：農林水産省

協 賛 : G l o b a l D a i r y P l a t f o r m (GDP)

#### 4. 主なスケジュールと内容 (予定)

【研究会】〔第一部〕 10時35分～12時00分

講 演 : 酪農乳業セクターにおける SDGs について (仮題)

講演者 : 調整中

講 演 : IFCN 活動に関する報告と酪農生産の構造比較～日本・オランダ・カナダ～

講演者 : 竹下広宣氏 (名古屋大学大学院 生命農学研究科 准教授)

《乳の社会文化ネットワーク会員》

〔昼休み・昼食〕

〔第二部〕 13時00分～15時15分

講 演 : 持続可能な酪農生産を実現するための課題やトリガーは何か?

講演者 : カナダ : Steve Couture (Senior Economist, Dairy Farmers of Canada)

オランダ : Kees de Koning (Manager, Dairy Campus)

日本 : 鶴川洋樹氏 (秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科 教授)

《乳の社会文化ネットワーク幹事》

〔第三部〕 15時40分～17時45分

パネルディスカッション

～持続可能な酪農生産に向けた取り組み上の課題及び国際研究のあり方～

モデレーター : 小林信一氏 (日本大学生物資源科学部動物資源科学科 教授)

《乳の社会文化ネットワーク幹事》

パネラー : 講演者等

総 括 : 生源寺眞一氏 (福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授)

《乳の学術連合副委員長、乳の社会文化ネットワーク代表幹事》

【懇親会】 18時00分～20時00分

#### 5. お申込み方法

別紙の「参加申込書」にご記入の上、11月16日(金)までに FAX : 03-6226-6354 または  
メール (h-kondo@j-milk.jp) にてお申込みください。

※定員になりましたら、締め切りとさせていただきます。

なお、参加申込書にご記入いただきました氏名、役職に基づき出席者名簿を作成し、当日配布  
いたしますので、ご了解いただきますようお願い申し上げます。

以上

お問合先	一般社団法人 J ミルク 生産流通グループ 近藤 宏
	〒104-0045 東京都中央区築地 4-7-1 築地三井ビル5階
	電話 03-6226-6353 FAX 03-6226-6354 E-mail : h-kondo@j-milk.jp

平成 30 年 月 日

(一社) Jミルク  
 生産流通グループ 近藤・西沢 行  
 [Fax : 03-6226-6354、[Mail : h-kondo@j-milk.jp](mailto:h-kondo@j-milk.jp)]

## 【平成 30 年度酪農乳業の国際比較研究会 参加申込書】

### お申込ご担当者

事業者名		所属	
役職		お名前	
E-mail		TEL	

※定員に達しましたら、ご担当者様にご連絡させていただきます。

### ご参加者

所属部署	役職	お名前	懇親会

※懇親会のご出欠について○、×をご記入下さい。

※参加申込書にご記入頂いた氏名、役職により出席者名簿を作成し、当日配布いたします。  
 予めご了解下さい。

※お申し込みの締切は 11 月 16 日(金)です。(定員になりましたら、締め切りとさせていただきます)

たきます。)

## 【H30年度 酪農乳業の国際比較研究会開催プログラム】

開始時刻	終了時刻	所要時間(分)	研修内容	対応者(敬称略)	所属・役職	
10:00	~ 10:30	30	受付〔ホール22A〕			
	10:30		開会			
10:30	~ 10:35	5	主催者あいさつ	西尾啓治	一般社団法人Jミルク 会長	
10:35	~ 11:15	40	酪農乳業セクターにおけるSDGsについて(仮題)	調整中		
11:15	~ 12:00	45	IFCN活動に関する報告と酪農生産の構造比較~日本・カナダ・オランダ~	竹下宏宣	名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	
12:00	~ 13:00	60	【 休憩 昼食 】			
13:00	~ 13:45	45	持続可能な酪農生産を実現するための課題やトリガーは何か!	カナダ	Steve Couture Senior Economist, Dairy Farmers of Canada	
13:45	~ 14:30	45		オランダ	Kees de Koning Manager, Dairy Campus	
14:30	~ 15:15	45		日本	鶴川洋樹 秋田県立大学生物資源科学部 教授	
15:15	~ 15:40	25	【 休憩 】			
15:40	~ 15:50	10	持続可能な酪農生産に向けた取り組み上の課題及び国際研究のあり方	論点提起	小林信一 日本大学生物資源科学部 教授	
15:50	~ 17:00	70		パネルディスカッション	小林信一(モデレーター)	日本大学生物資源科学部 教授
					Steve Couture	Senior Economist, Dairy Farmers of Canada
					Kees de Koning	Manager, Dairy Campus
					鶴川洋樹	秋田県立大学生物資源科学部 教授
17:00	~ 17:30	30	質疑・意見交換会	質疑応答は、全ての研修が終了後にまとめて実施		
17:30	~ 17:45	15	閉会 総括	生源寺眞一	福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授	
17:45	~ 18:00	15	会場移動			
18:00	~ 20:00	120	懇親会〔ホール22B〕			

## IFCNについて

正式な名称は、International Farm Comparison Network。

組織本部をドイツ・キールに置き、毎年 6 月に総会を開催。会員は各国の酪農関連産業を中心に 100 組織を数え、活動に参加している研究者は世界 100 カ国から参集。近年では、FAO や IDF などの国際機関と連携した活動も開始している。

IFCN の活動目的の一つは、酪農乳業に関する情報収集とその実態の把握にある。こうした目的から、2000 年より酪農経営に関するデータ収集を開始。その比較分析を主要な事業として位置づけた活動を行っている。

現在ではこの枠組みを基本としつつ、基礎的なデータに加えその周辺情報を広く網羅する調査を行い、分析結果を総会で公表。活動の拡大・深化を図っている。

また、IFCN 活動のもう一つの目的としては、集約された各国データの比較・分析をもとに、酪農乳業の経済モデルや基準となる指標を探り、産業活動全般の課題への対処を促していくことにある。

こうした一環から、IFCN のデータや分析結果については、FAO、IDF、GDP における議論の基礎としても活用が進められている状況。

なお、IFCN では、会員である酪農関連の会社組織・団体において、この活動で集約・分析された情報のもと、世界規模での環境、経済、需給等の様々な変化への適切な対処を促すため、さらに取り組みを強化していくこととしている。

